

入園のしおり



文京区立湯島幼稚園

〒113-0033 文京区本郷3-10-18

TEL 3814-9243

FAX 5689-4529

学年	年齢	組名	クラスカラー
年少	3歳児	もも組	桃色
年中	4歳児	ばら組	黄色
年長	5歳児	ゆり組	水色

いよいよ4月から皆様方が慈しみ育てこられたお子さんが、集団生活の第一歩を踏み出します。本園では、お子さんがご家庭から離れて初めて経験する幼稚園生活の中で、心も体も健やかに成長されるよう、愛情豊かな教職員がお子さんの入園をお待ちしております。

＜幼稚園の目的＞

「幼稚園は義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする」と学校教育法第22条に記されています。

＜本園の教育目標＞

文京区教育委員会の教育ビジョン「個が輝き共に生きる文京の教育」の実現が図られるよう、次のように教育を進めていきます。

人権尊重の精神を基盤とし、自主性、社会性、創造性、豊かな感性、表現力を養い、心身共に健やかな幼児を育成する。

◎よく遊ぶ子ども ○やさしい子ども ○考える子ども

＜教育方針＞

発達や学びの連続性を踏まえた多様な直接体験を通して、心身の調和のとれた発達の基礎が培われるよう、本年度の重点を「よく遊ぶ子ども」の育成とする。以下の6点を基本方針として教育課程を編成する。

- 幼児が安定した情緒の下で園生活を送り、遊びを通した総合的な指導の中で「知識及び技能の基礎」「思考力・判断力・表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」の三つを柱とする資質・能力を育み、主体的・対話的で深い学びを獲得することを目指す。
- 身近な動植物や自然事象に触れる直接的な体験を通して、生命の尊さ、自然の不思議さ、美しさを感じ、豊かな心情を育んだり、知的好奇心を高めたりする。
- 教師や友達との関わりの中で、自分の思いを表したり相手の考えを受け止めたりする経験を重ね、自己を表現する嬉しさや充実感を感じられるようにする。一人一人の自己表現力を高め、自立心や協同性、言葉による伝え合い、道徳性、規範意識の芽生えを培う。
- 幼児の主体的な遊びや生活の中で基本的な生活習慣を確立させるとともに、運動遊びや「学校2020レガシー」の教育を継続する。体力向上を意識した様々な身体の動きを引き出す遊びを取り入れながらスポーツに対する興味や関心を高め、安全教育・健康教育の充実を図る。
- 教員がSDGsの視点に立ち、質の高い教育活動を意識し、実践していく。教師自身が広い視野をもち、人権を重んじ、男女、国籍に関わらず公平な視点で保育を行う。一人一人の幼児を認め、温かく受け止めることで、幼児が自分も他人も大切にする気持ちを持てるようにする。
- 「文京区版学校感染症対策ガイドライン」に基づき、幼児・保護者・教職員が安心して教育活動に取り組めるよう、感染症対策を徹底するとともに、様々な想定で教育活動を計画する。幼児の豊かな体験が保障できるよう環境・教材を工夫し、ICTの活動を推進する。

＜特色ある教育活動＞

自然と関わる体験

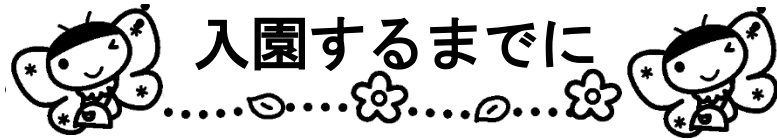
- ・ 草花や野菜の栽培
- ・ 小動物との触れ合いや世話
- ・ 小石川植物園、東大構内の散策
- ・ 自然と遊ぼう
- ・ 移動動物園



人と関わる体験

- ・ 教師や友達、園の職員との触れ合い
- ・ 親子体験活動(親子遠足、親子体操、保育参加、参観など)
- ・ 保育園児、小学生、中学生との交流
- ・ 未就園児や地域の方との関わり など





入園の日を楽しみに待つようにしましょう

新しい通園用カバン、靴などが揃うと、背負ったり履いてみたりして、入園を楽しみに待つ様子が見られます。この気持ちを大切にしましょう。

「そんなことをすると、幼稚園に行かれませんかよ」「幼稚園の先生に叱られますよ」

「言うことを聞かないと先生に言い付けますよ」などの言葉は、幼稚園や先生に対する不安や恐怖心を与えてしまいます。

「お友達がたくさんいて、きっと楽しいわよ」「砂場やすべり台があるから外でもたくさん遊べるよ」

「困った時は、先生にお話しすれば大丈夫よ」など、安心して楽しみに待てる言葉を掛けてあげましょう。

なるべく自分でできるようにしておきましょう

幼稚園の生活は、お子さんにとって社会生活の第一歩です。よりスムーズに園生活がスタートできるよう、入園までに次のようなことを心掛けておくとよいでしょう。

○自分の名前を言えたり、呼ばれたら「はい」と返事ができるといいですね。

○日常生活に必要な「おはようございます」「さようなら」「いただきます」「ごちそうさま」などの挨拶や、「ありがとう」「ごめんなさい」などの言葉を使う機会を大切にしていきましょう。ぜひご家族同士で試してみてください。

○洋服を着たり靴を履いたりすることを、自分でやってみるといいですね。お子さんのやる気を支えて、できたことを褒めてあげましょう。

○自分で手を洗ったり、濡れた手を拭いたりしましょう。水道の蛇口の開閉も自分でできるようにしましょう。

・いろいろな水道の蛇口があります。試してみる機会を作りましょう。

○早寝、早起きの習慣を付けましょう。

・基本的な生活習慣、生活リズム作りを心掛けましょう。



○食事（特に朝食）をしっかりとりましょう。また座って食事をするようにしましょう。

○トイレに一人で行けるようにしましょう。毎朝トイレで排便する習慣を身に付けましょう。

（3歳児は、おしっこが出ること、出たことを自分から知らせられるようにしましょう）

○自分で鼻をかみましょう。

・正しいかみ方を教えましょう。



○遊んだ後の片付けを身に付けましょう。

・遊具の量を加減したり、分類しやすい箱などを用意したりして、自分で片付けやすくしてあげましょう。

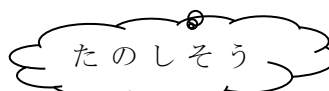
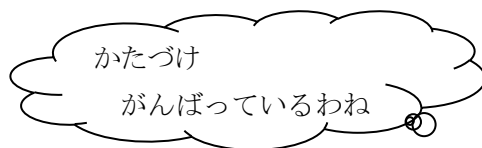


入園当初は、お子さんの緊張をほぐしてあげましょう

新入園児にとって、ほとんどのお子さんが幼稚園は初めての集団生活の場です。大人が考えている以上に緊張している子もいます。幼稚園ではこの緊張をほぐし、家庭と同じように安心して生活できる雰囲気作りを心掛けています。ご家庭に帰ったら、ひざに抱く、ゆっくり話を聞いてあげるなど、いつも以上に温かく接し、翌日も元気で登園できるようにしてあげましょう。

叱るより、よいところを褒めるようにしましょう

お子さんには一人一人個性があります。他のお子さんと比較せず、お子さんの思いや考えをしっかりと受け止め、よいところを引き出すことが大切です。短所ばかりが目につき、ついつい小言を言ってしまうがちです。できるだけ認めたり、励ましたり、褒めたりしてあげましょう。子どもたちは、褒められたり認められたりすることで気持ちが安定し、自信をもって生活できるようになります。



幼稚園の生活を無理に聞き出さないようにしましょう

入園当初は、お子さんの幼稚園での様子がとても気になることと思います。

お子さんが自分から話す場合は別ですが、あまり話したがないときは無理に聞かないようにしましょう。お子さんのその日の様子は、降園時に担任がお伝えします。個人的に心配がある方は、担任へお知らせください。



登園・降園

○登園（幼稚園に朝、来る時間） 9：00～9：10

- ・開門は9：00～9：10が原則です。この時間内に登園しましょう。
- ・この時間は園長が正門にて一人一人を迎えます。挨拶をして幼稚園に入りましょう。
9時より前に着いた時は、親子一緒に門を入った所でお待ちください。
- ・保護者の方は、ピンクフェンスのところからお子さんを送り出して、お帰りください。ただし、入園当初やお子さんの様子に応じて、ピンクフェンスの中までお入りいただいて構いません。
- ・朝、伝えたいことがある場合は、連絡カードに用件を書いて園門にいる園長にお渡しください。担任は保育をしておりますので、降園時にお話してください。
- ・遅刻して登園してきた時、早退する時などは必ず保護者の方が職員室に声を掛け、その旨お伝えください。お子さんだけ門の中に入れるのは危険です。また、常時出席把握をしているため、ご協力をお願いします。

○降園（幼稚園から帰る時間）

- ・降園時間は時期によって変わりますので、その都度園だよりでお知らせいたします。降園時刻の5分前に各学級所定の場所でお待ちください。
- ・登降園の際は、職員玄関前の掲示板をご覧ください。連絡事項などを掲示します。

送り迎え

- 毎日、保護者の方が徒歩で送り迎えをすることが原則です。お子さんとしっかりと手をつなぎ会話を交わすなど、親子の触れ合いを大切にしましょう。また、交通安全指導のよい機会でもあります。横断歩道の渡り方、信号の見方などを折に触れて教え、保護者の方がお手本を示しましょう。毎日歩くことで、足も丈夫になります。
- 園カバンや帽子は、必ずお子さんに持たせましょう。
- 送り迎えの際には、保護者の方にも名札を着用していただきます。（入園後にお渡しします P.7 参照）
- お迎えを他の方をお願いするときは、必ず幼稚園にお知らせください。また、お願いする方に保護者用名札を預けるか、事前に連絡カードにてお知らせください。



服装・持ち物

- 毎日、園帽子を被ってきましょう。
- ズボンは本日販売する園ズボンの着用を推奨しています。子どもにとって動きやすく濡れても乾きやすい素材でできています。ハンカチとティッシュを入れるポケットも前面についています。
- ハンカチ、ティッシュは必ずズボンのポケットに入れておきましょう。
- おもちゃ（キーホルダーの付いている玩具・シールなども含む）、お菓子などは持ってこないようにしましょう。
- 長い髪の毛は遊具に引っかかると危険です。結びましょう。（安全のため、大きなものや固い髪飾りは控えましょう）帽子をかぶれるようご配慮ください。
- フードのある上着、首周りに紐がついている上着、長ズボンで裾に紐やゴム止めの玉がついているものなどは滑り台やジャングルジムに引っかかると危ないので避けてください。園ズボンが隠れてしまう長さの洋服も着てこないようにしてください。

欠席する時

○欠席する時は、必ず幼稚園にお知らせください。連絡の方法は、次のいずれかでお願いします。

- ・連絡カードに記入し、幼稚園に届ける。(近所の方に依頼しても結構です)
- ・電話連絡(8:10～8:30)をする。

○感染症にかかった場合は、医師の許可が出てから登園してください。その際、登園届が必要です。園にありますので、お申し出ください。園HPからダウンロードもできます。(保護者の方が記入するものです)

○病気などで欠席が長引く場合は、お子さんの様子などを時折ご連絡ください。

学校において予防すべき感染症の種類と出席停止期間の基準

分類	病名	出席停止の基準
第1種	(注)	治癒するまで。
	インフルエンザ (鳥インフルエンザ(H5N1を除く))	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日(幼児にあっては、3日)を経過するまで。
	百日咳	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで。
第2種	麻疹(はしか)	解熱した後3日を経過するまで。ただし、病状により感染力が強いと認められたときは、更に長期に及ぶ場合もある。
	流行性耳下腺炎(おたふく)	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで。
	風疹(三日はしか)	発疹がなくなるまで。
	水痘(みずぼうそう)	すべての発疹がかさぶたになるまで。
	咽頭結核熱(プール熱)	症状がなくなったあと2日を経過するまで。
	結核	医師の診断により伝染のおそれがないと認められるまで。
	髄膜炎菌性髄膜炎	症状により学校医等において感染のおそれがないと認めるまで。
第3種	コレラ	症状により、学校医、その他の医師において伝染のおそれがないと認められるまで。
	細菌性赤痢	症状により、学校医、その他の医師において伝染のおそれがないと認められるまで。
	腸管出血性大腸菌感染症 (O-157など)	有症状者は医師により伝染のおそれがないと認められるまで。 無症状病原体保有者は出席停止不要。手洗い励行。
	腸チフス、パラチフス	症状により、学校医、その他の医師において伝染のおそれがないと認められるまで。
	流行性角結膜炎	医師の診断により伝染のおそれがないと認められるまで。
	急性出血性結膜炎	医師の診断により伝染のおそれがないと認められるまで。
	感染性胃腸炎 (ノロウイルス感染症など)	下痢・嘔吐症状が軽快し全身状態が改善されれば登校可能。
	マイコプラズマ感染症	急性期は出席停止。全身状態がよくなれば登校可能。
	溶連菌感染症	抗生剤治療開始後24時間を経て全身状態がよければ登校可能。
	伝染性紅斑(リンゴ病)	発疹のみで全身状態がよければ登校可能。
	手足口病	発熱や咽頭・口腔の水疱・潰瘍を伴う急性期は出席停止。 治癒期は全身状態が改善されれば登校可能。
	ヘルパンギーナ	発熱や咽頭・口腔の水疱・潰瘍を伴う急性期は出席停止。 治癒期は全身状態が改善されれば登校可能。
	ウイルス性肝炎	A型：肝機能正常化後登校可能 B型・C型：出席停止不要
	伝染性膿痂疹(とびひ)	出席可能(プール・入浴は避ける)
	伝染性軟属腫(水いぼ)	出席可能(多発発疹者はプールでのビート板の共用を避ける)
	アタマジラミ	出席可能(タオル、櫛、ブラシの共用を避ける)

(注) エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎(ポリオ)、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(SARSコロナウイルスに限る)、鳥インフルエンザ(H5N1に限る)

※ 学校保健安全法施行規則及び文部科学省発行「学校において予防すべき感染症の解説」より参照

飲み薬の扱いについて

左の表が、学校伝染病に指定されている病気の一覧です。

幼稚園では、「乳幼児の薬は保護者が飲ませるもので、教員が飲ませることはできない」というのが原則です。どうしても必要な場合は、次のような方法が考えられます。

- 保護者の方が途中で園に来て飲ませる。
- 医師に、家で朝・夜に飲ませれば済む薬を、処方してもらう。
- 昼の分を降園後、保護者が飲ませる。

*お子さんに薬を持たせるのは、誤飲などの危険がありますので、おやめください。



保護者の皆様へ

下記の感染症は学校保健安全法により、基準のとおり出席停止の期間が定められています。主治医の診察を受けて登校(園)が許可されましたら「登校(園)届」をご記入のうえ、お子さまを登校(園)させてください。なお、休みの期間中は欠席扱いにはなりません。

インフルエンザ、百日咳、麻疹(はしか)、流行性耳下腺炎(おたふく)、風疹(三日はしか)、水痘(みずぼうそう)、咽頭結核熱、結核、腸管出血性大腸菌感染症、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、溶連菌感染症、伝染性紅斑、マイコプラズマ感染症、感染性胃腸炎 など

登校(園)届

大宮区立_____学校(園)長 殿

_____年_____月_____日

下記の疾患について、_____月_____日からの加療の結果、医師の診察により登校(園)許可ができましたので_____月_____日より登校(園)させます。

病名()

受診した医療機関名:

電話番号:

令和_____年_____月_____日

保護者名_____印

※病気の状況により医師の証明書を出していただく場合があります。

(裏面もご覧ください)

学校感染症にかかった時に提出していただく書類です。保護者の方が記入します。

経費

＜毎月かかる費用＞

- 保育料 保育料は無償となります。
- しらうめ会費（PTA会費）＜1ヶ月 500円 令和6年度予定＞
- 行事費 ＜1ヶ月 500円 令和6年度予定＞

＜必要に応じて納入する費用＞

- 遠足にかかわる費用（実費）
- 修了積立金（年長 ゆり組）
- 園帽子などの用品

＜預かり保育＞

- 登録利用 無償化の対象となります。（別途認定申請手続きが必要です。）
- 一時利用 ＜1回 450円＞
 - ・利用料が必要な方は、利用の翌月に金融機関から引き落とされます。

家庭との連絡

○園だより、学級だよりなどの手紙はお子さんに配布しますので、よくお読みください。

○園からの手紙は、お子さんの通園カバンに入れてお渡しします。

- ・お子さんに手紙の有無を確認しましょう。
- ・帰宅後、通園カバンの中を確かめましょう。
- ・回答の必要なものは、期日までに提出してください。

○緊急の場合は、掲示物でお知らせします。

また、学校保護者間の連絡ツールに登録していただき、「携帯電話」「FAX」等によってお知らせする場合もあります。

○保護者会は、大切な用件が含まれています。都合をつけて、必ずご出席ください。

○連絡カードは、欠席、遅刻、早退などの連絡の他、担任への相談などを書いて、登園時、門で挨拶をしている園長（教職員）にお渡しください。

幼児の名札について

○他学年も含め、幼児同士が名前を知り合ったり、教職員がお子さんの名前を把握したりするために、園内では名札を付けています。

○名札は園に置いたままとし、園内のみでの着用とします。着け外しについては担任よりお知らせします。

保護者の名札について

○保護者の方は、来園時には名札を着用してください。カードホルダーは各自でご準備ください。名前のカードは入園式にお渡しします。送り迎え用にご家族の分が必要な方は、副園長までお申し出ください。

園内の安全対策

幼稚園では、園児の安全確保のため、次のようにしています。詳しくは、入園後の保護者会などでお知らせします。

○正門の電気錠の施錠・ピンクのフェンスの施錠（必ず保護者の方が操作してください）

○職員玄関の施錠

○学校110番の設置（警察署に直通の回線となっています）

○各保育室に内側からかけられる鍵の設置

○各保育室と職員室など園内をつなぐインターホンの設置

○警察官及びスクールサポーター（本富士警察署の巡回指導員）の巡回

○湯島総合センター受付との連携

○不審者対応訓練の実施

○AEDの設置

○防犯カメラの設置

安心・防災メールについて

○文京区より希望する保護者の皆様に、情報を配信するメールがあります。詳しくは、区のホームページをご覧ください。（園から配信する学校保護者間の連絡ツールとは異なります。ご注意ください。）

正門の施錠について

正門は教職員が門に立っている登降園の時間帯以外は、施錠されています。以下をお読みいただき、園児の安全確保にご協力ください。

- 施錠時間
- ・9：10～降園10分前まで
 - ・降園時刻～預かり保育終了時（18：00）まで

○施錠中の出入り

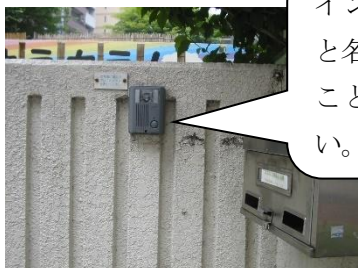
＜入るとき＞ インターホンで学級名と名前を告げてください。職員室から操作して開錠します。園内に入った後、門扉を閉めて門の上のカンヌキをかけてください。（機械音を確認してください）

＜出るとき＞ 門の横にある開錠ボタンを自分で押して開け、出てください。安全のため、保護者が先に出ましょう。必ず門を閉めて、カンヌキをかけてください。（機械音を確認してください）

- その他
- ・朝の開門時、降園前、土曜園庭開放時は、電気錠を切り、開錠してあります。通常通りカンヌキをかけて出入りしてください。
 - ・幼児には開錠ボタンを絶対に操作させないでください。故障すると全体の安全確保に関わります。また、園児が一人で門の外に出て行く危険性もあります。

- ・門の上にあるカンヌキを必ずかけてください。電気錠が閉まらなかったり、正門が開放されている時は職員室で警報音が鳴り続けます。登降園の際、職員が立っている時は、オートロックは開錠していますのでそのままお入りください。

<入る時>道路側



インターホンで学級名と名前を告げ、来園したことを知らせてください。開錠します。

<出る時>幼稚園側



カンヌキをかけてください。

ここに子どもが乗らないようにしてください。

この中に開錠ボタンがあります。
大人が開錠し、開錠後はフタを閉めてください。

その他

- ① 年度の途中で退園される場合は、直ちに申し出てください。
- ② 幼稚園で熱を出したりけがをしたりしたときは応急手当をし、ご家庭に連絡いたします。用事で家を留守にする時は、必ず連絡がつくようにしておいてください。就労されている方は、携帯電話あるいは職場に連絡をいたします。連絡後は、速やかに園にお迎え、または、病院への付き添いをお願いいたします。

※文京区教育委員会では、日本スポーツ振興センターと災害共済給付契約を結んでおります。これは学校や幼稚園の管理下に起こった事故に対してその治療費や見舞い給付を受ける共済給付契約です。共済掛け金は、全額区が負担いたします。(詳しくは、後日配布する手紙をご覧ください)

- ③ 地震や火事などの災害が発生した時は、指定された避難場所へ避難します。

(第一次避難場所は **園庭** 第二次避難場所は **湯島小学校**)

- ④ 18:00～翌朝8:00および休日、休園日は留守番電話の対応です。

上記時間内に生命等に関わる緊急の連絡が必要になった場合は、文京区の代表電話(03-3812-7111)にご連絡ください。

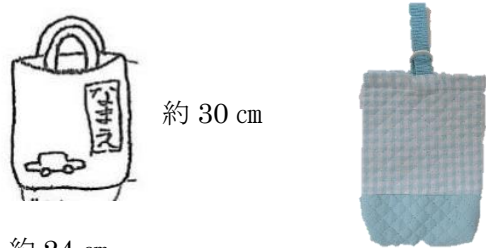
用品

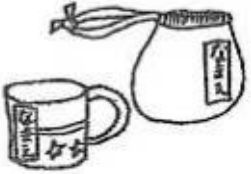
- ・持ち物全てに名前（ひらがな）を必ず付けてください。
- ・3、4歳児は自分のものと分かるようイラストマークを決めます。マークのシールをお渡ししますので手書きで描く時などに参考にしてください。

<購入していただく物>

品名	記入の方法、その他	取り扱い方
園帽子	・裏に名前を付けてください。 	・通園の際、使用します。 ・園帽のゴムは、伸びたら付け替えてください。
園ズボン	・動きやすく、乾きやすい素材でできています。また体の前面にポケットがついているため、着用を推奨しています ・ポケットに、名前と印を付けてください。 (気候や体調に合わせて長ズボンやタイツをはいても構いません。ズボンはポケットのあるものにしましょう)	・ポケットのある方が前になります。
名札	・入園式の日にお渡しします。 ※全員に購入していただきます。 ・<u>代金は4月に集金します。</u>	・園で付け、置いて帰ります。
カラー帽子	・カラー帽子内側（白い面）に名前と印を付けてください。 ※首の後ろを覆うタレ付きのカラー帽子も購入できます 	・3歳児は桃色、4歳児は黄色、5歳児は水色です。(クラスカラーです) ・原則として毎週、週末に持ち帰ります。洗って月曜日に忘れずに、持たせてください。

＜家庭で揃えていただく物＞ ※図の中のサイズ表記(cm)は目安です。

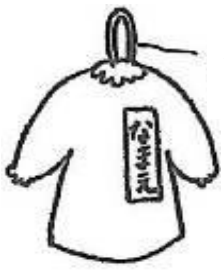
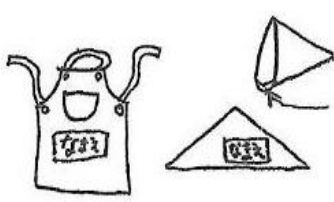
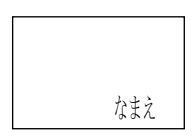
品名	記名の方法、その他	取り扱い方
通園カバン (リュック)	・カバンに名前を付けてください。 ・自分でファスナーなどが開け閉めできるようにしましょう。(開け閉めしやすいようにキーホルダーをつける場合は、大きすぎないものを1つにしてください)	・幼稚園に毎日背負ってきてください。 ・令和6年度はお弁当、コップ、タオルを入れて登園します。幼稚園から手紙を持って帰ることがあります。
上履き	・白のバレージューズです。 ・立ったままでもスムーズに履けるタイプのものにしましょう。 ・名前と印を付けてください。  親指の位置に 合い印を付ける。 かかとも名前 ※ マジックテープは幼児にとって扱いにくいので、適しません。	・原則として毎週、週末に持ち帰ります。洗って月曜日に持たせてください。 ・名前が薄くなったら、書き直してください。 ・足の大きさに合ったものを準備してください。(脱ぎ履きしやすく、動きやすいもの)
通園靴 テラス靴 ※もも組はテラス靴 はいりません	・運動靴に限ります。名前は、上履きと同じように書いてください。 ・一度に大勢のお子さんが靴を履き替えます。スムーズに履き替えられるものを用意してください。 ・足の指が出ていると危険ですので、サンダルは禁止です。	・テラス靴は、汚れたら持ち帰ります。 ・通園靴及びテラス靴は、砂場でも使用します。 ※ 見える所に名前を付けたくない方は、内側でも構いません。
靴袋	・靴の出し入れがしやすいように、靴より大きめの大きさでお願いします。 ・名前と印を付けてください。 ・持ち手はお子さんの持ちやすい幅にしてください。  約 30 cm 約 24 cm	・原則として靴袋は、週末に上履きを入れて持ち帰ります。月曜日に上履きを入れてきたら、園に置いておきます。 ※ 上履きと一緒にテラス靴を持ち帰る時もありますので、大きめのものをご用意ください。

手さげ袋	・名前と印を付けてください。 持ち手はお子さんの持ちやすい幅にしてください。  約 30 cm 約 40 cm 	・基本的には、園に置いておきます。作品や絵本、その他の物を持ち帰る時に使用します。持ち帰ったら、<u>翌日</u>持たせてください。
手ふき用タオル	・フックに掛けられるように、ループを付けてください。 ・名前と印を付けてください。  綿テープ 10 cmを輪にして、付けてください。 25 cm位の正方形 (替用として、2枚必要です)	・手ふき用タオルは、毎日持ち帰ります。綺麗に洗って、翌日持たせてください。
コップ コップ袋 (巾着型)	・持ち手がある、すわりのよいプラスチック製のものを用意してください。 ・コップ袋の入り口は大きめのもので、コップが出し入れしやすいようにしてください。 ・側面に名前と印を付けてください。 (コップ袋は替用として、2枚は必要です)  入り口は大きめ、ひもは長め(10 cm程度)が使いやすいです。	・お弁当のない日でも、毎日持たせてください。うがいをするときにも 使います。 *コップの名前は、マジックで書くと消えやすいのでシールの方が適しています。消えたり、剥がれたりしやすいのでこまめに確認しましょう。

弁当箱	・年少組は5月中旬から、年中組は4月からお弁当が始まります。 ・冬季は温飯機で温めますので、アルミ製品を用意してください。 (サンドイッチの時は、温めないのものでアルミでなくてもよいです) ・落とした場合に蓋が開かないように2センチ巾の平ゴムで留めてください。 ・ゴムバンドにも名前と印を付けてください。 ・開閉しやすいものを用意してください。 2 cm巾のゴムバンドに名前を書く。	・3歳児には、密閉容器でないものをお願いします。 ○ このようなもの × このタイプは閉めにくいので、ご遠慮ください。
弁当袋	・弁当箱の大きさに合わせ、お子さんが出し入れしやすい袋にしてください。薄手の布地で、弁当箱、箸、ランチョンマットが入るゆとりのある大きさにしてください。 ・名前と印を付けてください。	・きんちゃく袋型、または封筒型
箸 箸箱 フォーク スプーン	・分かりやすく、消えないように名前と印を付けてください。 ・スプーン、フォークは用途に応じて持たせてください。	・箸は開けやすい箸箱に入れて持たせてください。 ・3点セット(スプーン、フォーク、箸)は置くスペースがありませんので、持たせないでください。
ランチョンマット	・約 20 cm×約 25 cmの大きさにしてください。(替用として、2枚必要です) ・名前と印を付けてください。	・机の上に敷いて、弁当箱等を置きます。 ＊たたんで入れるため、薄手のものにしてください。

着替え 着替え用袋 	・ 全てに、名前と印を付けてください。  肌着、パンツ 2 枚、上着、ズボン 靴下、ビニール袋	・ 着替え一式と、濡れた衣類等を入れる<u>ビニール袋を用意してください</u>。ビニール袋には、必ず氏名を書いてください。 ・ 袋の中身は、3 歳児は引き出しに入れます。4、5 歳児は袋のまま使用します。 ・ 着替えが足りなくなったときは、園の物をお貸しします。パンツは直接肌に触れる物なので、<u>新品をお貸しします。新品をお返してください</u>。着替えを使用した場合は、すぐに補充をお願いします。
--	--	--

＜家庭で揃えていただく物＞ ※入園後すぐには使わないもの

品名	記名の方法、その他	取り扱い方
スモック	・名前と印を付けてください。 ・着脱しやすいように、ゆとりある大きさにしてください。 ・フックに掛けられるように、ループを付けてください。  必ず付けてください。	・栽培活動や絵の具遊び等に使用しますので、園に置いておきます。持ち帰ったら、すぐに洗って持たせてください。
エプロン 三角巾	・名前と印を付けてください。  ゴムを付けると扱いやすいです	・使う時にお知らせします。 ・もちつきがある時などに使います。 ・5歳児は、栽培物を料理する際にも使う場合があります。
傘 レインコート 長靴 冬場のコート	・名前と印を付け、レインコートは首の所に必ずループを付けてください。 	・傘は、自分で開閉できるように練習し、つぼめたら巻いて止める練習をしてください。 ・自分で扱えるようにしましょう。
レジャーシート	・名前と印を付けてください。  およそ 70×50 cm位	・遠足時に使います。 ・扱いやすい一人用の小さめのものを用意してください。 ・たたみ方等を教えておいてください。
水筒	・名前を付けてください。 	・紐付きで大きすぎないもの。 (大きいと重くて歩くのが大変です) ・自分で扱えるよう練習しましょう。

☆手ふき用タオル、コップ袋、お弁当袋、ランチョンマットは、洗い替えを作りましょう。

遠足について

遠足に行く回数は各学年によって異なりますが、年間を通じた基本的な<服装>や<持ち物>は次の通りです。

<服装>

カラー帽子

- ・前日、園から持ち帰ります。
- ・遠足後、洗濯して持たせてください。

Tシャツ、トレーナー

- ・動きやすく、汚れてもよいもの

- ・履き慣れた靴
- ・脱げにくい靴



靴

<持ち物>

園カバン

お弁当

- ・箸を使わずに食べられるおにぎり、サンドイッチなど。

おかずやデザートは入れないでください。

おしぼり



水筒

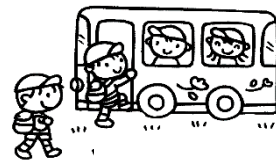
- ・水か麦茶を飲む量だけ入れてください。(多いと重くて、お子さんがつらくなります)
- ・蓋の開閉が自分でできるようにしておきましょう。(カップタイプにしてください)
- ・園カバンの中に入る程度の大きさのものをご用意ください。
- ・大きいと重いので大きすぎないものにしてください。

ビニールシート

- ・コップとタオルはいりません。

<遠足時の注意事項>

- ・全ての持ち物にひらがなで、名前を書いてください。
- ・持ち物は、お子さんと一緒に園カバンに詰めるようにしましょう。
- ・前日は睡眠を十分にとりましょう。
- ・朝食は消化のよいものにしましょう。
- ・用便（大便）は済ませてから登園しましょう。
- ・具合の悪いお子さんは、無理に参加しないようにしましょう。
- ・欠席の場合は、必ず連絡してください。
- ・バスに酔いやすいお子さんは、前日までに担任に連絡してください。
- ・健康管理をしっかりとって、参加させましょう。
- ・集合時間厳守です。



入園式のご案内

- ◇日 時 令和6年 4月10日（水） 午前10時開式
- ◇受付時刻 午前9時30分～45分 時間をお守りください。
- ◇式 場 本園 2階ホール
- ◇服 装 園帽子を着用してください。
 （園ズボンを購入した方は園ズボンを着用してください）
- ◇持ち物 上履き ハンカチ ティッシュ
 保護者の方も必ず上履き（スリッパなど）をご持参ください。

・式に参列する方は保護者2名まででお願いします。

※令和6年1月17日現在の予定です。今後変更になる場合もあります。
その際は園から連絡をいたします。

